

観光情報の発信において引き続き、「地域おこし企業人」の制度を活用し、新たな魅力の創出に取り組んでまいります。また、オンライン・トラベル・エージェンツ（OTA）を活用し、地域資源の魅力を国内外に発信してまいります。本年実施される静岡デステイネーションキャンペーンでは、様々な団体と連携し、イベントを企画してまいります。黒船祭においては、第80回を迎え、2夜連続の海上花火大会を開催するとともに、記念誌を発行します。

世界一の海づくり事業につきましては、しもん窓口で



の体験プログラムやジオサイト情報等の一元化及び発信業務の機能強化を図るとともに、各種講座や体験プログラムを企画してまいります。また、ビーチライブカメラをさらに1台追加し、下田の美しい海の魅力の発信に努めます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック関連として、ホストタウンとして米国サーフィンチームの強化合宿等を受け入れ、小中学生との交流を図るなど、米国との文化・スポーツ交流事業を実施し、国内外へ本市の魅力をPRするとともに、機運醸成に努めます。

映画、CM、ドラマ等の撮影が増加しており、本市の魅力発信、知名度の向上、来遊客の増加等効果が期待されるため、ロケ誘致に積極的に取り組んでまいります。

4月からの駿河湾フェリー運航において、県及び3市3町で構成する一般社団法人を設立し、利用客の増加を図り、本市のPRを行ってまいります。まどが浜海遊公園から市街地までの「みなとまちゾーン」を、交流とにぎわいの拠点とするための具体策について検討してまいります。

海外観光展でのPRや首都圏等での観光イベントに参加し、本市をPRするとともに、ホームページ、フェイスブック等を活用し、本市の魅力を世界に発信してまいります。

②産業振興策

農林業では、引き続き、オリーブのまちづくり事業、里山整備や竹等地域資源の活用による美しい里山づくり事業を推進してまいります。商業では、商工団体と連携した下田ブランドの認証事業、住宅リフォーム振興の助成を実施してまいります。水産業で

は、魚市場等整備計画支援事業、稚貝、稚魚の放流事業、漁船団誘致対策事業等への助成を継続し、漁港の機能保全として、外浦第2防波堤の整備を実施してまいります。

③経済活性化

空き施設や空き店舗等を活用し、企業誘致、起業支援に取り組むため、官民が一体となった企業誘致の受け入れ体制を整備いたします。

国内外の観光客を含めた利用者の利便性向上のため、キヤッシュレス決済の普及策の検討を行い、新たな地域活性化に取り組んでまいります。

旧町内において、ポケットパークや駐車場の整備、周遊ルートの美装化、歴史的建造物の保全に関する助成など、固有の風情や歴史を活用したまちづくりに努め、伊豆急下田駅周辺地区の整備に向け、基本構想の策定を行います。

防災対策事業

年々被害が甚大化する気象災害、地震・津波災害に対し、市民の生命と財産を守るため、盤石な防災体制の確立を目指します。

①ハード事業

同報系防災行政無線のデジタル化を推進してまいります。また、敷根避難路の整備や貯留槽型非常用トイレの設置等の避難所環境向上に係る事業、消防団の強化を目的とした資機材整備事業等を継続して行つてまいります。

発災時の道路閉塞を未然に防止するため、国道414号沿線の建築物耐震化に対する補助制度を創設いたします。

浜崎小学校屋内運動場の耐力度調査を実施し、市内全小学校の防火扉や防火シャッターの改修を実施し、防災機能の向上に努めてまいります。

公共下水道の地震対策として、武方浜ポンプ場の耐震補強工事を進めてまいります。

②ソフト事業

下田市地域防災計画の全面改訂に向けた準備を進めるとともに、津波避難計画の更新と津波避難ビルの指定に向けた準備を行ってまいります。

また、防災訓練や防災講座の充実、自主防災組織強化のための資機材配備等を実施してまいります。

三本の柱以外の重要課題

①第4次下田市総合計画等各種計画の改訂

平成31年度から2か年をかけて、現行計画に続く次期計画の策定作業に着手します。

これらの計画は、本市のまちづくりの基盤となる計画であることから、事業の実施状況や目標値に対する評価、計画の達成度等を分析することにより、本市の実相を明らかにし、将来に向けた明確なビジョンと具体的な方策を盛り込んだ計画とするよう、的確な策定作業を進めてまいります。

また、下田市地域福祉計画が、計画の最終年度を迎えます。地域社会を取り巻く環境は変化を続けており、これまで取り組んできた事業を改めて検証し、市民の皆さまの意見を取り入れながら策定作業を進めてまいります。

②新庁舎建設

新庁舎建設設計・工事監理業務及び基本設計再構築業務に基づき、平成30年度に基本設計書作成後、実施設計書の作成を進めました。

引き続き、土地収用法に基づく事業認定を受けた後、用地を10月までに取得し、建設工事には11月頃着手する計画としております。

③中学校再編整備

市立中学校の再編に関して、新中学校の名称が「下田市立下田中学校」と決定しました。今後も引き続き、下田市立学校統合準備委員会により、新中学校の理念をはじめとし、制服や校章、校歌、部活動等具体的な検討を進め、魅力的な教育環境の創出に努めてまいります。

広域連携

○市営じん芥処理場整備事業

建設後37年が経過し、老朽化への対応は喫緊の課題です。新施設の整備に当たり、コストの削減や環境負荷の低減を図ることを念頭に、関係町との協議を継続してまいります。

○賀茂地域広域連携会議

糖尿病等重症化予防事業や地籍調査事業、賀茂地方税債権整理回収協議会、賀茂広域消費生活センター等の共同実

施を継続し、それぞれの体制強化を図ってまいります。

幼児教育に関して、賀茂地区で専任の幼児教育アドバイザーを新たに配置し、さらなる質の充実を図ってまいります。

その他重点事業

○道路整備

・伊豆縦貫自動車道及びアクセス道路

伊豆縦貫自動車道の早期開通に向けて、引き続き要望活動に取り組むとともに、用地交渉、関係機関との連携及び事業協力等に積極的に取り組んでまいります。

また、県道河津下田線などの幹線道路の整備促進を図ってまいります。

・都市計画道路

「都市計画道路整備プログラム」に基づき、整備を進めてまいります。特に都市計画道路路武浜横枕線のうち、新下田中学校への通学路となる区間は、優先整備すべく道路管理者と協議を進めてまいります。

・生活道路

各地区からの要望に基づき、着実に生活道路の維持改良を進めてまいります。

○教育振興

中学校に続き、小学校においても、先行的にプログラミング教材を導入し、プログラミング的思考、情報活用能力等の育成に努めてまいります。勉学環境の改善を図り、必要な教室の空調設備の整備を実施してまいります。加えて、教職員のパソコン機器を更新し、校務支援システムの活用と併せ、教職員の働き方の改善に努めてまいります。

○国際交流

黒船祭が第80回の記念の年となることから、さらなる日米両国の友好関係の発展のために記念式典及び記念事業を実施いたします。

また、昨年開始したロシア連邦との友好交流事業をさらに推進することとし、ロシア人墓地での慰霊祭や講演会等を開催し、児童・生徒による在日ロシア人学校との交流を進めてまいります。

○図書館の移転

図書館の移転に関しては、基本構想策定に向けた準備を進めてまいります。

○事務・事業の効率化

8月からマイナンバーカードを利用した、コンビニ交付サービスを開始いたします。用途廃止となることが予定されている施設や用途廃止後も活用方針が決まっていない施設について、今後の行政ニーズや市民ニーズに対応するための活用を検討してまいります。特に、朝日公民館及び旧樋村医院の検討を始めます。平成31年度中期までに個別施設計画を策定し、市有施設の計画的な維持管理を図るよう進めてまいります。

以上、平成31年度の所信の一端を申し上げましたが、市政を司るに当たり、「虚心担懐」「公論傾聴」「先見洞察」「熟慮断行」を座右の銘とし、「市民の心をわが心として」の初心を忘れることなく、市役所職員、一致団結して、能動的に事業を執行し、もって市民の負託に応えていく所存でありますので、市民の皆さま並びに議員各位の市政に対する温かいご理解、ご協力とご鞭撻を賜るよう、衷心からお願いするものでございます。